Nikon

Jp
En
Ck
Ch
Kr

スピードライト
Speedlight

SB-400

使用説明書
Instruction Manual

CE

スピードライト

SB-400

Jp

使用説明書

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。表示と意味は次のようになっています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠ 危 険 スピードライトについて

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警 告 スピードライトについて

分解禁止

分解したり修理・改造をしないこと

感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと

感電したり、破損部でケガをする原因となります。

すぐに修理依頼を

電池、電源を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

電池を取る

熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。

すぐに修理依頼を

電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼してください。

水かけ禁止

水につけたり,水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと

発火したり感電の原因となります。

禁止

引火・爆発のおそれのある場所では使用しないこと

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

発光禁止

車の運転者等にむけてスピードライトを発光しないこと

事故の原因となります。

発光禁止

スピードライトを人の目に近づけて発光しないこと

視力障害の原因となります。

特に乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。

発光禁止

発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと

やけどや発火の原因となります。

保管注意

幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。

万一飲み込んだ場合は直ちに医師にご相談ください。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

正しい電池を使用しないと、液もれ、破裂、発火の原因となります。

Jp

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、破裂、発火の原因となります。

マンガン乾電池、アルカリ電池、リチウム電池は非充電式電池ですので、充電しないこと

液もれ、破裂、発火の原因となります。

ニッケル水素充電池などの充電式電池の充電は、メーカー指定の充電器で、付属の注意事項を守って行うこと「＋」「－」を逆にしての逆充電、電池が熱いままの充電はしないこと

破裂、発火、液もれの原因となります。

注 意 スピードライトについて

ぬれた手でさわらないこと

感電の原因になることがあります。

製品は幼児の手の届かない所に置くこと

なめて感電したり、ケガの原因となることがあります。

注意

強い衝撃を与えないこと

内部が故障し、破裂、発火の原因になることがあります。

溶剤清掃禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤を使ってふかないこと
防虫スプレーの液剤を製品に吹きつけないこと
また、ナフタリン、しょうのうの入った場所に保管しないこと

プラスチックケースが割れて火災や感電の原因となることがあります。

保管するときには電池を外すこと

発火、液もれの原因となることがあります。

危 険 ニッケル水素充電池について

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用充電器を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり保管しないこと

ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 ニッケル水素充電池について

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、発火の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

水かけ禁止

水につけたり、濡らさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

使用禁止

変色・変形、その他、今までと異なることに気づいたときは使用しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります

注意

電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。
お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。

注意 ニッケル水素充電池について

注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

Jp

Jp

⚠ 危険 リチウム電池について

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告 リチウム電池について

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かないところに置くこと

幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること

液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、濡らさないこと

液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電式電池以外は、充電しないこと

液もれ、発熱の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること

他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 危険 アルカリ電池、オキシライド乾電池について

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること

そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告 アルカリ電池、オキシライド乾電池について

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池に表示された警告・注意を守ること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

使用説明書に表示された電池を使用すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

外装チューブをはがしたり、キズをつけないこと
また、外装チューブがはがれたり、キズがついている電池は絶対に使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

保管注意

電池は幼児の手の届かないところに置くこと
幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

警告

電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

水かけ禁止

水につけたり、濡らさないこと
液もれ、発熱の原因となります。

禁止

充電式電池以外は、充電しないこと
液もれ、発熱の原因となります。

電池を取る

使い切った電池はすぐに器具から取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

警告

電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること
他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則に従って、正しく廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

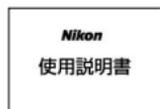
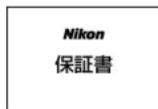
はじめに

このたびはニコンSB-400をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みの上、十分に理解してから正しくお使いください。また、ご使用のカメラの使用説明書も併せてお読みください。

ご確認ください

箱の中身をご確認ください。

Nikon
保証書

SB-400本体　ソフトケース　使用説明書（本誌）　保証書

本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のカメラ及びレンズなどのアクセサリーに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでご使用ください。

・他社製品との組み合わせ使用により、事故、故障などが起こることもあります。

撮影の前には試し撮りを

大切な撮影をするときには、必ず試し撮りをして、スピードライトが正常に機能するかを事前に確認してください。

・本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用及び利益喪失等に関する損害）についての補償はご容赦ください。

保証書について

本製品には保証書が添付されていますのでご確認ください。

定期的に点検サービスを受けてください

スピードライトは精密機械ですので、1～2年に1度は定期点検を、3～5年に1度はオーバーホールされることをおすすめします（有料）。

- 特に業務用にご使用になる場合は、早めに点検整備を受けてください。
- 点検整備を依頼される際は、より安心してご愛用いただけるよう一緒にお使いのカメラやレンズ等もあわせて点検依頼されることをおすすめします。

使用説明書の再発行は当社サービス機関へ

使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関にて新しい使用説明書をお求めください（有料）。

- 下記当社webサイトからのダウンロードサービスもご利用いただけます（PDFファイル。無料）

インターネットご利用の方へ

使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を、以下の当社webサイトでご覧いただけます。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため、定期的にアクセスされることをおすすめいたします。

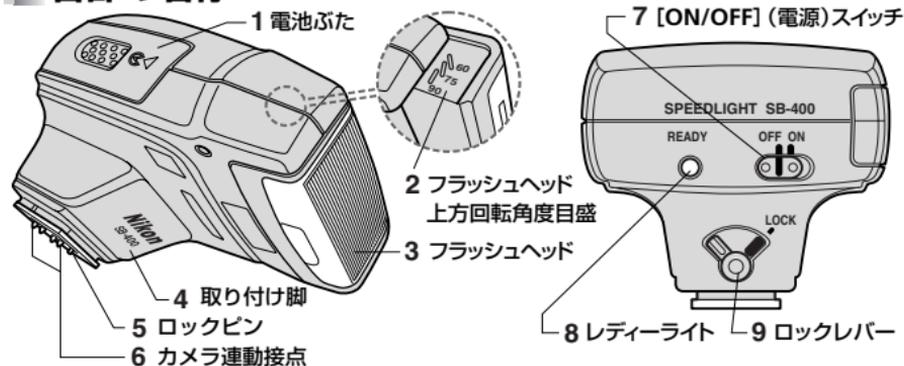
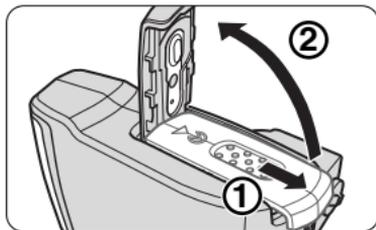
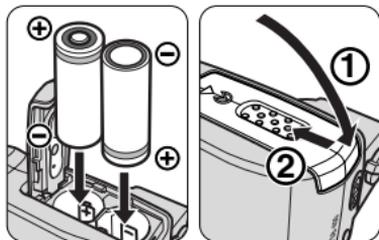
撮影の準備

使用できるカメラ

本機は、ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）に対応したカメラとの組み合わせで、i-TTLモード、マニュアルモード（D60、D40シリーズカメラ使用時のみ）で発光を制御します。

ニコンクリエイティブライティングシステム対応カメラ	D3、D300、D2シリーズ、D200、D80*、D70シリーズ*、D60*、D50*、D40シリーズ*、F6、COOLPIX 8400・8800*・P5000・P5100

＊印のカメラとの組み合わせ時は､SB-400の電源を必ずONにしてご使用ください。（☞P.20）

各部の名称

電池を入れます。

1 電池ぶたを矢印の順に開けます。

2 ⊕⊖表示の向きに電池を入れ、電池ぶたを押さえながらスライドさせて閉じます。

Jp

使用できる電池

以下の単3形の同じ種類の電池を2本入れてください。

アルカリ電池（1.5V）、リチウム電池（1.5V）、
オキシライド乾電池（1.5V）、ニッケル水素充電池（1.2V）

- 電池交換の際は、2本とも同じ種類の新品電池を入れてください。
- マンガン電池のご使用はおすすめしません。
- リチウム電池は電池の仕様により、連続発光して電池が高温になると発光できなくなることがあります。電池温度が下がれば、お使いになれます。

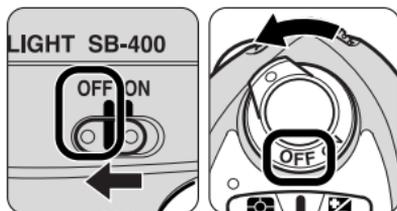
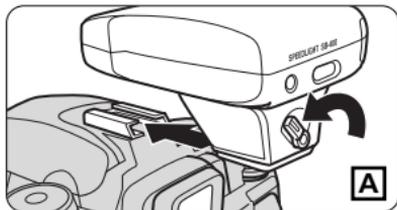
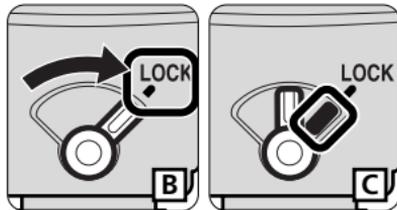
電池交換の目安

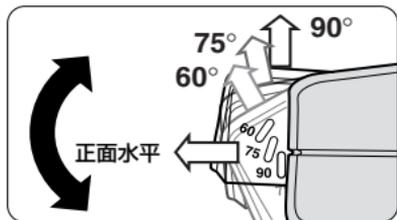
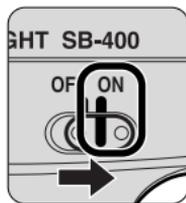
電池の容量が足りなくなると、レディーライトが2Hz（1秒間に2回）の点滅を繰返します（約40秒間）。電池を交換または充電してください

電池の無駄な消費を防ぐスタンバイ機能

- 本機を操作しない状態が約40秒以上続くと、自動的に電源がOFFになり、電池の無駄な消費を防ぎます。（スタンバイOFFの状態）
- 本機をカメラに接続している場合は、カメラの半押しタイマーがきれて待機状態になると、連動して本機の電源がOFFになります。
- スタンバイOFFのときは、本機の［ON/OFF］（電源）スイッチの操作または、カメラのシャッターボタンの半押しに連動して電源ONになります。

基本的な撮影の手順

1 カメラに取り付けます。

1 **SB-400およびカメラの電源をOFFにします。**

2 **ロックレバーを左に回してから、取り付け脚をホットシューに差し込み、ロックレバーを右に回します。（図A、B）**

・ロックレバーが右に回りきらないで、赤い印が見える場合は（図C）、ロックピンが完全にはまってはいません。もう一度、取り付け直してください。

2 フラッシュヘッドをセットします。

1 **フラッシュヘッドを回転させて、正面水平方向にセットします。**

2 **SB-400およびカメラの電源をONにします。**

Jp

3 カメラをセットし、撮影します。

1 **カメラの露出モード、測光モードをセットします。**

・詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。

2 **SB-400またはカメラのファインダー内のレディーライトの点灯を確認して、撮影します。**

調光範囲について

本機で適正なフラッシュ光量が得られる調光範囲は0.6〜20mです。ただし、ISO感度、絞り値によって異なります。

ISO感度	絞り値										
1600	4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	—	—
800	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	—	—
400	2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—	—
200	1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32	—
100	-	1.4	2	2.8	4	5.6	8	11	16	22	32
調光範囲（m）	1.9〜20	1.4〜14.8	1.0〜10.5	0.7〜7.4	0.6〜5.2	0.6〜3.7	0.6〜2.6	0.6〜1.8	0.6〜1.3	0.6〜0.9	0.6

カメラ側の設定による撮影／発光機能

カメラ側の設定により、下記のような撮影や発光ができます。

- 各機能は本機ではセットできません。カメラ側でセットします。詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- シャッタースピードが遅くなる撮影では、三脚のご使用をおすすめします。

Jp

スローシンクロ撮影

シャッタースピードが低速になるので、夕景や夜景の雰囲気を生かした撮影ができます。

赤目軽減発光撮影

本発光直前に微少な光量で3回発光し、目が赤く写る現象を弱めた撮影ができます。

赤目軽減スローシンクロ撮影

赤目軽減発光機能とスローシンクロ機能を同時にセットします。

後幕シンクロ撮影

光の軌跡が被写体の後方に流れる、自然な写真を撮影できます。

FVロック撮影

構図を変えてもフラッシュによる被写体の露光量をロック（維持）できるため、被写体の明るさを一定に保つ撮影ができます。

露出補正／調光補正

撮影状況に応じて主要被写体と背景光の両方、または主要被写体のみに露出補正ができます。

- カメラの露出補正ボタンやダイヤルの操作で露出補正を行うことにより、本機の発光量と背景の露出の両方を補正できます。
- 調光補正機能を持つカメラでは、本機の発光量だけを変えて、背景の露出を変えないで主要被写体の明るさのみ補正できます。

マニュアル発光（D60、D40シリーズカメラ使用時）

カメラのカスタム設定によってマニュアル発光ができます。

スピードライトの効果的な使い方

本機は、フラッシュヘッドの向きを4段階（正面水平、60度、75度、90度）に変えられます。フラッシュヘッドを上向きにして天井などによる反射光を利用したフラッシュ写真撮影（バウンス撮影）が簡単に楽しめます。

上方90度回転（バウンス）

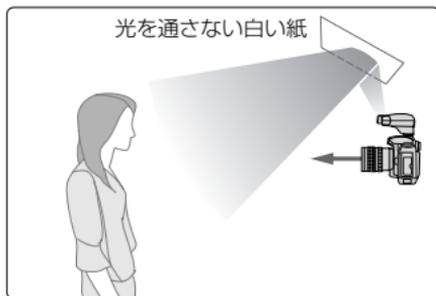
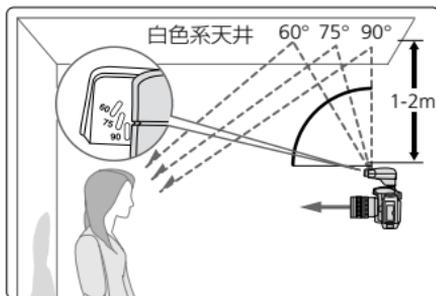
正面水平方向

バウンス撮影とは

フラッシュヘッドを回転させて、天井などに反射させた光を利用する撮影をバウンス撮影といいます。被写体に正面からフラッシュの光を当てる場合に比べ、以下のような効果があります。

・近い被写体だけが白とびするのを軽減できます。
・背景に出る影を弱められます。
・肌や髪や服のてかりを抑えられます。

バウンス撮影時のご注意

フラッシュヘッドを上方向にセットして、天井にバウンスさせるのが最も簡単です。この時、フラッシュの光が直接被写体に当たらないように注意してください。

- フラッシュヘッドと反射面（天井など）との距離は、1〜2m前後が理想的です。
- フラッシュの光が直接被写体に当たらないようにしてください。
- 反射面は、白色系で反射率の高いものを選んでください。反射面に色があると、被写体にその色が影響します。

- 反射面が遠過ぎる場合は、白い紙（A4判程度）を反射面に利用すると効果的です。このとき、反射光が被写体に当たっていることを確認してください。

照明にムラが出たらバウンス角度を大きくします。

照明ムラ

上方90度回転で撮影

レンズの焦点距離とバウンスの角度によっては、照明ムラになることがあります。

・バウンス角度を90度にして撮影してください。

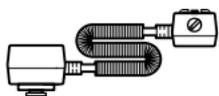
光量が不足した場合

フラッシュの光量不足

ISO感度設定を高くして撮影

反射面が遠過ぎると、フラッシュの光量が不足し、被写体を十分に照明できないことがあります。

・デジタルカメラではISO感度設定を高くして撮影してください。
・絞り値を開放側（小さい数値側）にセットして撮影してください。
・反射面との距離を短くして撮影してください。

使用できるアクセサリー

TTL調光コード　SC-29/28/17（約1.5m長）
SB-400をカメラから離して撮影する際に使用します。
三脚取り付け用のネジ穴を備えています。
ただし、SC-29のアクティブ補助光機能は使用できません。

お手入れについて

シンナーやベンジンなどの有機溶剤を清浄に使しないこと
火災や健康障害の原因となります。
製品を破損します。

お手入れの方法

- ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払った後、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。
- 本機内部には、精密な電子部品が多く含まれています。振動や衝撃を与えないでください。

保管の方法

- カビや湿気による故障を防ぐため、風通しの良い乾燥したところに保管してください。
- ナフタリンや樟脳、磁気を発生する器具の近くには、置かないでください。
- 極度に高温になるところ(夏期の車内やストーブなどの近く)には、置かないでください。高温になると、故障の原因となります。
- 約2週間以上使用しないときは、電池の液漏れによる故障を防ぐために、電池を取り出してください。

・コンデンサー（本機内部の部品）の劣化を防ぐため、約1ヵ月に1回は、2、3度発光させてください。
・乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸って効力がなくなりますので、ときどき交換してください。

ご使用になる場所にご注意ください

・極端に温度差がある場所に移動すると、本機内部や外観部に水滴が生じることがあります。バッグやビニール袋などに入れ、周囲の温度になじませてからご使用ください。
・テレビ塔や高圧鉄塔に近い場所では、強い磁気や電波が発生しており、誤作動することがあります。

電池について

電池に関するご注意

・一般的に、スピードライトは非常に大きな電流を消費しますので、電池などに記されている充放電回数前に電池が使えなくなる場合があります。
・電池の両極に油や汚れなどが付着していると、接触不良の原因となりますので、ご注意ください。
・電池には、低温になるほど性能が低下する性質、休ませておくと電圧が回復する性質、使わなくても自己放電する性質がありますので、ご使用になる前には電池の容量の確認を心がけて、電池は早めに交換することをおすすめします。
・電池は、高温・多湿になる場所を避けて保管してください。

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Jp

連続発光時のご注意

連続発光の制限回数を越えて発光させないこと

本機の過熱と劣化を防ぐため、連続発光は下の「連続発光の制限回数」でいったん止め、10分以上休ませて発光部を自然冷却してください。

連続発光の制限回数

発光モード	制限回数
i-TTLモード マニュアル発光（光量：M 1/1、M 1/2）	15回以下
マニュアル発光（光量：M 1/4～M 1/128	40回以下

D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ、COOLPIX 8800との組み合わせ時のご注意

SB-400をD80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ、COOLPIX 8800に装着して使用する場合は、SB-400の電源を必ずONにしてご使用ください。

・SB-400の電源をOFFにして使用すると、カメラの内蔵フラッシュが自動ポップアップした際にSB-400と接触しますのでご注意ください。

・SB-400を発光させないときは、カメラから取り外しておくことをおすすめします。

マイクロコンピュータの特性

本機の制御は、主としてマイクロコンピュータによって電子的に行われています。マイクロコンピュータの特性として、極めて稀に、充分容量がある電池が正しく装填されていても本機が正しく作動しないことがあります。このような場合は、電源スイッチをONにしたまま電池を入れ直し、作動させてください。

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたり、本機またはカメラによる警告表示があった場合は、修理を依頼する前に、下記の点を確認してください。

Jp

カメラ側ファインダー内の警告表示

カメラ側の警告表示	原 因	対処方法
発光直後に、ファインダー内のレディーライトが約3秒間点滅	フル発光しても露出不足の可能性がある	・撮影距離を短くする。 ・カメラの絞り値を開放側（小さい方の数値）にセットする。 ・カメラのISO感度設定を高くする。
D60、D40シリーズカメラとの接続時、ファインダー内の⚡?マークが点滅	レンズの焦点距離が18mmより広角になっている	・焦点距離を18mm以上にする。
D60、D40シリーズカメラとの接続時、ファインダー内の⚡?マークが点滅	本機のフラッシュヘッドが上方向にセットされている	・バウンス撮影の場合は、そのまま撮影する。 ・バウンス撮影しない場合は、正面水平にセットする。

本機のレディーライトが点滅したら

レディーライトの点滅	理 由	対処方法
発光直後に、4Hzで約3秒間点滅	フル発光しても露出不足の可能性がある	・撮影距離を短くする。 ・カメラの絞り値を開放側（小さい方の数値）にセットする。 ・カメラのISO感度設定を高くする。
2Hzの点滅を約40秒間繰り返す	電池の容量が不足している	・電池を交換または充電する。
0.5秒間で8Hzの点滅（4回連続）を、0.5秒間おきに繰り返す	ニコンクリエイティブライティングシステム（CLS）に対応していないカメラに装着した（CLSに対応していないカメラでは使用できません）	
1Hz点滅（0.25秒ON、0.75秒OFF）を繰り返す	連続発光などにより、本機の温度が上昇した	・本機の温度が下がり、レディーライトが点灯するのを待つ。

・Hz（周波数）は1秒間当たりの点滅回数です。

仕様

<table>
<tr><td>形　　式</td><td>直列制御方式TTL自動調光スピードライト</td></tr>
<tr><td>ガイドナンバー (20℃)</td><td>30（ISO200・m）/21（ISO100・m）</td></tr>
<tr><td>照射角度</td><td>18mmレンズの配光をカバー（DXフォーマットカメラ使用時）、27mmレンズの配光をカバー（F6カメラ使用時）</td></tr>
<tr><td>調光範囲</td><td>0.6m〜20m（ISO感度、バウンス角度、絞り値によって異なります）</td></tr>
<tr><td>発光モード</td><td>i-TTLモード / マニュアル発光（D60、D40シリーズカメラ使用時のみ）</td></tr>
<tr><td>使用できるカメラ</td><td>ニコンクリエイティブライティングシステム対応カメラ</td></tr>
<tr><td>カメラ側の設定による撮影/発光機能</td><td>スローシンクロ撮影/赤目軽減発光撮影/赤目軽減スローシンクロ撮影/後幕シンクロ撮影/FVロック撮影/マニュアル発光</td></tr>
<tr><td>バウンス角度</td><td>垂直方向：上方向 90°〜正面0°（クリック：0°/60°/75°/90°）</td></tr>
<tr><td>電源ON/OFF</td><td>スライド式スイッチにより電源ON/OFF切り替え</td></tr>
<tr><td>使用電池/
最短発光間隔/
発光回数
（フル発光相当時）
（電池初期での性能。電池性能の変更等によってデータが異なることがあります。）</td><td>次の単3形の同一種類×2本
<table>
<tr><th>電池</th><th>最短発光間隔</th><th>発光回数※／フル発光相当からレディーライト点灯までの時間</th></tr>
<tr><td>アルカリ電池（1.5V）</td><td>約3.9秒</td><td>140回以上/3.9〜30秒</td></tr>
<tr><td>リチウム電池（1.5V）</td><td>約4.2秒</td><td>250回以上/4.2〜30秒</td></tr>
<tr><td>オキシライド乾電池（1.5V）</td><td>約3.1秒</td><td>150回以上/3.1〜30秒</td></tr>
<tr><td>ニッケル水素充電池（1.2V）（2600mAh）</td><td>約2.5秒</td><td>210回以上/2.5〜30秒</td></tr>
</table>
※30秒（リチウム電池使用時は120秒）に1回の発光を行ったときのデータです。</td></tr>
</table>

レディーライト	点灯：充電完了 点滅：フル発光時の露出不足の警告/電池容量の不足警告/カメラ不適合警告/温度上昇警告
閃光時間	約1/1300秒：フル発光相当時
ロックレバー	ロックピンにより、アクセサリーシューからの脱落を防止。
大きさ	約66.0（幅）× 56.5（高さ）× 80.0（奥行）mm
質量（重さ）	約127g（電池を除く）
付属品	ソフトケース SS-400

・仕様中の性能データは、すべて常温（20℃）、新品電池使用時のものです。
・仕様、外観の一部は改良のため予告なしに変更することがあります。

アフターサービスと保証について

■修理を依頼される場合は

ご購入店、または当社サービス機関にご依頼ください。

- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼できない場合は、最寄りの販売店、または当社サービス機関にご相談ください。

■補修用性能部品について

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後7年間を目安としています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても、修理可能な場合もありますので、ご購入店、または当社サービス機関へお問い合わせください。
- 水没、火災、落下等による故障、または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能です。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

製品の保証について

① この製品には「保証書」がついていますのでご確認ください。

② 保証書はお買い上げの際、ご購入店からお客様に直接お渡しすることになっています。
「ご愛用者氏名」および「ご住所」「購入年月日」「購入店名」がすべて記載された保証書をお受け取りになり、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

③ 保証規定による保証修理は、ご購入日から1年間となっております。
「保証書」をお受け取りになりませんと、上述の保証修理がお受けになれないことになりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

④ 海外での保証内修理は領収書の提示を求められることがありますので、保証書とともに領収書の携行をお願い致します(領収書のない場合は有料となる場合があります)。

⑤ 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。

⑥ 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスについてご不明なことがございましたら、ご購入店、または当社サービス機関へお問い合わせください。

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

Jp

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜18:00（年末年始、夏期休業等を除く毎日
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、（03）5977-703
におかけください。
FAXでのご相談は、（03）5977-7499 におかけください。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理の申し込みができます。
「修理見積もり」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/

＜インターネットをご利用できない方の修理品送り先＞
(株)ニコン イメージング ジャパン 修理センター
〒230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26　電話：(045)500-3050
営業時間：9:30〜17:30（土、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業など弊社定休日を除く毎日）

● 修理センターではご来所の方の窓口がございません。送付のみの対応となりますのでご了承ください。